

### 3. 開発のコンセプト

#### ○ 鉄道車両とのコスト比較

		DMV	鉄道(例:JRキハ40系)
使用設備		現行の設備を活用	鉄道法に沿った現行の設備
車両	購入費	約1,500万円	約13,000万円
	燃費	約6.0km/l	約1.4km/l
	定期検査費	約55万円/年	約440万円/年
線路	修繕頻度	極軽度な修繕	数年に1回程度

(資料:JR北海道)

- ・初期費用(車両購入費)の抑制
- ・マイクロバスベースの運転費、車両保守費
- ・車両が軽量になることによる線路の保守管理費用の軽減

### 4. DMV導入のメリット

#### 利便性・サービスの向上

- ・鉄道⇔バス乗り換えの解消によるシームレス化、バリアフリー化
- ・バスの機動性と鉄道の定時性の融合

#### ストックの有効活用

- ・既存インフラの活用
- ・インフラの軽減
- ・ランニングコストの軽減

#### 新たな需要の創出

- ・利便性向上による公共交通利用促進
- ・地域(観光)活性化